

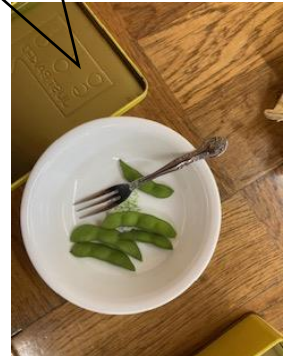
・野菜作り

園庭の一画・プランターを使用して、トマト・スティックブロッリー・枝豆の苗を購入し栽培した。

園芸ボランティアさんに助けをいただきながら、年長児を中心に苗植え、種まきをし、学年を問わず興味のある子どもと水やりをし、適宜肥料を与えた。

収穫物は幼稚園で調理し、弁当の時間に、アレルギー児には食べさせていかその都度確認の上、少しずつ全員が食べられるようにした。

園庭で収穫した枝豆



・園庭の植栽

ジュンベリーは今年も実をつけ、鳥や小学生とともに園児たちも食べることができた。昨年豊作だったみかんは今年は個数が少なく、来年に期待している。

おしろいばな、藤、キバナジャスミンの花びらで、園児たちは様々な遊びを楽しんだ。

藤の蔓が電柱に絡まないように刈り込み、また、フェンス沿いの草が歩道の通行を妨げないように草刈りをした。

園門の周囲には入園式の頃に咲くようチューリップ・ムスカリの球根を12月に植えた。同じ場所に日々草の苗や、園児と一緒に種から育てた松葉牡丹を植え、園周りの景観を整えた。



園門脇のチューリップ

・食育の取り組み

今年も梅の実を頂き、園児たちがフォークで穴を開け、梅ジュースを作り、創立記念礼拝で乾杯をした。梅の実にはジャムになり、長く園児たちと楽しんで食べた。

収穫感謝祭では様々な野菜・果物が捧げられ、それらの収穫物を用いてカレーを作り会食した（「季節のアルバム」参照）。また、野菜の葉などは調理して弁当の時間に食べた。教師がにんじんで作ったジャムは苦手な子どもも喜んで食べられた。

年中組はパン作りを通して分かち合う喜びを感じることができた（相愛だより1月号参照）。



だいこん・かぶの葉っぱと豚ひき肉の醤油炒め